

## ◆昨年度のふりかえり

## 【検討テーマ】

	日 時	場 所	主な内容
第1回	平成29年8月31日(木) 15:00~17:15	市民交流プラザ ギャラリー	・本市の現状と課題について ・住民自治の全国的な動向と取組みについて
第2回	平成29年10月17日(火) 15:00~17:00	市役所601号室	・地域の組織について (地域協議会、公民館)
第3回	平成29年11月14日(火) 10:00~12:00	市民交流プラザ 会議室 3-2	・地域の組織について (自治会)
第4回	平成29年12月19日(火) 10:00~12:00	市民交流プラザ 会議室 4-1	・地域の担い手について
第5回	平成30年1月22日(月) 10:00~12:00	市民交流プラザ 交流スペース	・地域の担い手について
第6回	平成30年3月23日(金) 14:00~16:00	市民交流プラザ 会議室 3-3	・自治会の負担について

## 【住民自治を支える組織の現状と課題】

## 1 自治会

- ・高齢化とあわせて、自治会の人数が減少し、自治会組織自体が成り立たなくなっているところがある。
- ・自治会長の充て職が多すぎる。
- ・各自治会の現状と課題を把握する必要がある。⇒「自治会に関するアンケート実施」
- ・自治会への費用配分のあり方も検討が必要。

## 2 公民館

- ・福知山市は、自治会組織と一体となった地区公民館の活動が、まさに住民自治である。
- ・地区公民館が連携して中学校区単位の地域公民館活動が成り立っている。この仕組みがきちんとして機能しているのが福知山市の特徴といえる。
- ・地域公民館は、地域のニーズや課題を踏まえ、まちづくりに関して地域の多様な機能を果たしている。

## 3 民生児童委員

- ・地域の生活弱者の生活を地域で支えていく活動をしているが、現状は自治会とうまく連携できていないところもある。

#### 4 地域協議会

- ・地域協議会設置の区域は、旧市内の中学校区では、各地域の課題に差がありすぎるため、ひとくくりには出来ない。
- ・組織を持続させていくためには、市からの財政支援も必要だが、「人の知恵」が欲しい。
- ・行政と協議会の関係を繋ぐパイプ役が重要になってくる。
- ・小学校区内の団体長が一つに集まって話し合う場が既にあるため、それを地域協議会として位置づけてもよいのでは。

#### 【組織の共通課題】

- ・業務が多く、後継者のなり手がいない。
- ・あらゆる組織において高齢化が進み、担い手不足である。
- ・組織の役員交代時に、しっかりと引き継げる仕組みがない。
- ・他の組織と同じような事業をやっている。



#### 【組織の共通課題を解決するための方策】

##### 中間支援組織

- ・自治会と協議会が2層構造である上に、中間支援組織が新たな階層になるのであれば不要である。専門性や外部からの視点が必要であれば、常設する必要は無い。
- ・本市、既存のNPO等を中間支援組織として活かす方法もある。
- ・地域協議会の事務局どおしが情報共有する仕組みがあれば、これから立ち上げを検討する地域にとっては十分、中間支援として機能する。
- ・協議会と自治会というよりも、市と協議会との関係性の中で、より中間支援組織の必要性がある。
- ・単独自治会として出来ないことを協議会がするが、協議会だけでは難しい部分については、外からの人材や情報は必要となる。

今後の方向性

地域づくり組織の立ち上げについて、早い段階で一定の方向性を示していく。

課題・・・組織の体系、行政の支援など